



アクテノン

NO. 56

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

■ スーパー一座「大須師走歌舞伎」20周年

原 智彦 (スーパー一座 座長)



大須師走歌舞伎('03)
「二人吉三恋半鐘の巻」



第1回大須師走歌舞伎('88)
「助七由縁大須桜」

1979年、岩田信市氏と共に「スーパー座」結成、大須演芸場で旗揚げ公演を行う。4年後にロンドンで1ヶ月の長期公演、以後7年に渡って6度のヨーロッパツアー、230公演を行う。その間、国内でも年一作の公演は行って来たが、2、3日の短期公演であった。ヨーロッパでは長期のツアーが可能なのに日本ではむずかしい。

ヨーロッパ公演で感じる事は演劇が人々の生活の中にとけこんで根づいている。文化が生活のしもべとしてちゃんと生きついている。これには様々な要因があるが、一番のポイントはおもしろい芝居がもっとも適した小屋でもっとも適した方法で上演されている事です。300~500名、多くても700名位の収容の大きさ、劇場には簡単なバブがあり、開演前、休憩、時には終演後も、人々の楽しいな語らいの場となっている。

日本でも年に2、3日ではなく、なんとか、長期に公演を打てないかという思いは常に有り、ヨーロッパでの楽しい芝居さんまいを参考に始めたのが大須師走歌舞伎である。毎年同じ所で同じ時に公演を打つ、逃げ場のない勝負である。1年間の用意をして1988年に第1回目「助七由縁大須桜」以来今年で20回目を迎える。1ヵ月昼夜2回、なんと無謀な事と思うが、おもしろければクチコミで一ヶ月も演っていれば、いつかは見に来るだろう、という絶対の自信はあったし、それなりの準備もした。芝居の楽しさはコレだ。お客と一緒にかつぐ「みこし」のような芝居、祝祭性あふれる極彩色に満ちた、ようするに楽しい芝居、腹の底から笑えるような

芝居、そういった芝居をするのはやはり名古屋では大須演芸場という芝居をするには多少不自由な舞台だが、客席をさじぎにして天井には大須町内をかみしもを着て、門付していただいた赤い提灯をズラリと並べ、表には三枚続きの絵カンバン、大須演芸場までの道のりにはごひいきの50本のノボリ。入口の入山カンバンには口上と、江戸の芝居見物さながらどころか、出来る限り近づけた。もちろん飲食自由である。私は場内の飲み食い芝居を見ないのならそれは我々役者の負けで、おもしろくない芝居だからだと考える。結果は見事大成功で今に続いている。

おもしろい芝居を作り続ける事は実にスリリングなカケである。続けるという事は、常に前以上を求める客の期待に応えるという事だ。そういったプレッシャーが我々のハゲミにもなっている。

良い芝居作りが一番必要なのは、ケイコ場である。いつでも自由にケイコ出来る場所が最も必要である。悲しい事だが名古屋にはそれがない(アクテノン以外には)。午後9時でオシマイという場所は現代社会においてケイコ場とは言わない！我々はそれを知っているから自前のケイコ場を劇団旗揚げ以来、必死でカク保している。実はそれが大須師走歌舞伎を20回続けられてこれが一番大きな事ではないかと思っている。なに事もそうであろうが、続ける事によって得た事は大きい。20本の作品、500公演、10万人のお客に支えられた師走歌舞伎の20年でした。今年も大須師走歌舞伎。「桜姫松の白浪」ぜひごらんになって下さい。

トピックス

■ アクテノン・フェスティバルに参加して

三輪 淳子



「アクテノン・フェスティバル」参加('07)
MOMOFANKI

「MOMOFANKI・モーモーファンキー」「どういう意味?」「みんなの名前の頭文字」「なるほど」というわけで、私達の劇団名は決定しました。名付け親はキヌヨたん。

メンバーは9人、昨年のアクテノン シニア演劇部で出会った仲間が、折角学び仲良くなったのに、このまま解散するのは惜しいと集まり、アクテノンの職員のご協力、助言の元、久川徳明先生(劇団翔航群 代表)をご紹介していただきました。

先生にとっては50代・60代のおばさんの生徒を指導することに戸惑われたことでしょう。中には母親の年齢に等しい者も数名おりましたから。10月のアクテノン・フェスティバル参加を目標に先生書き下ろしの台本で練習が始まりました。あらずじはメンバー8人の紹介と劇団名が決まるまでを面白おかしく表現されました。オギー・キヌヨたん・キョンキョン・トシ君(唯一の男性、金の卵的存在)・エーちゃん・ドリアン・ジュンちゃん・チャー。都合に依り一名欠場)登場人物はそれぞれの特徴をつかみ、個性豊かに描かれていて、先生の観察眼の

鋭さに一同脱帽でした。

稲葉地公園の中に聳える白亜のアクテノン。この階段状の舞台でお芝居ができるなんて何と素晴らしいことでしょう。本番が刻々と近づいてきますが若い時と異なり半世紀余り生きた、記憶力が衰えたおばさん達は中々セリフが覚えられません。本番に間に合うかとどんなにか先生はヤキモキハラハラされたことでしょう。でも、そこは無駄に年輪を重ねてはいません。長年人生の荒波を乗り越えてきた英知と底力で、誰一人トチルことなく、堂々とセリフを吐くことができました。階段状の舞台ではさながら宝塚スター気分を味わいました。好天に恵まれ、スポーツに散策に公園を訪れた人々が足を止めて、私達に拍手を送って下さいました。昨年共に学んだシニア演劇部の仲間達の熱い声援に勇気百倍で頑張ることができました。

60代の後半を向える今、こんなに心をトキメかせ、ワクワクできることを体験できて本当に幸せです。新たな自分にも、素晴らしい友にも出会うことができました。

アクテノン・シャワー

■ アクテノン シニア演劇部発表会「ねこ・こんさるたん」と

作:別役 実 演出:佃 典彦

6月から始まったシニア(50代~60代)のための演劇教室「アクテノン シニア演劇部」発表会が開催されます。現代劇の役者体験は、ほぼ初めての受講生たちが、日本を代表する劇作家別役 実氏の作品を、名古屋を代表する劇団B級遊撃隊の佃 典彦氏の演出により一生懸命演じます。みなさま、是非、客席から応援してください。



アクテノン
シニア演劇部の皆さん

日 時: 12月14日(金) 19:00開演
15日(土) 14:00開演
会 場: 名古屋市中村文化小劇場
(中村公園文化プラザ3階)
入 場 料: 800円(日時指定・全自由席)
お問い合わせ: 名古屋市演劇練習館 アクテノン
TEL 052-413-6631
FAX 052-413-6632

■ 舞台照明のワークショップを開催します。

毎年ご好評をいただいている、舞台照明のワークショップを今年度も実施いたします。なかなか勉強することができない「舞台照明」について、実際に触りながら学ぶことができます。また、実践での安全管理や舞台でのテクニクなど、あなたの質問にもお答えします。皆様のご参加をお待ちしています。

開 催 日: 平成20年2月16日(土)~17日(日)
講 師: 村瀬 満佐夫(劇団翔航群)
受 講 料: 2,000円
受付開始日: 平成20年1月5日から受付。
※なお、定員になり次第締め切らせていただきます。
お問い合わせは、演劇練習館(TEL)052-413-6631まで。

アクテノン利用団体紹介

①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④代表者名、住所、電話

演劇 劇団電光石火一発座



劇団電光石火一発座は、2004年12月に名古屋学生劇団の精鋭を集めて作られた劇団です。

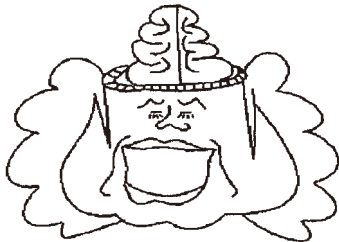
4回目の公演を終えた現在では、学生のみにとられず、社会人も活動しています。

常にメンバーが変わり、その時によって作品の味が違うのも特徴です。今後の予定としては1月に岐阜の「みずほ演劇祭」に、3月にユースフェスティバルに参加する予定です。興味のある方、参加してみたい方、ぜひぜひ一度ご連絡下さい。

アクテノンに一言 無理なことも快く引き受けて下さる職員の皆様、いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願ひします。

- ①2004年 ②約15名
- ③「日本の食卓~倒せ! 鍋奉行~/G/pit('05) 「child/G/pit('06) 「スカイヒルス遠藤/G/pit('07)
- ④吉川和典
〒465-0024
名古屋市名東区本郷3-120
スカイマンションカトウ706

演劇 右脳中島オーボラの本妻



名古屋を拠点に活動している、役者高橋佳菜と社会人作家丸蟲御膳末吉2人による演劇ユニット。

どこの劇団よりもお客さまの脳を刺激し愛されることを望み、あなたの右脳の本妻となるべく嫁ぎました。

「脳ミソ観えてるよ。」と言われることが、2人の至上の喜び。

Mail: oobora6@yahoo.co.jp
http://unounohonsai.xxxxxxxx.jp/

- ①2007年 ②2名
- ③女の日常と解毒剤処方箋/セツ寺共同スタジオ('07) 演熟/翔UPファクトリー('07)
- ④高橋佳菜

アクテノンに一言 アクテノンの... 「ア」頭を抱えて、「ク」苦しむ日々、「テ」天からの啓示を受けたとき、「ノ」脳ミソ観えてるよ。「ン」んんどすこい。

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

<p>スーパー一座公演 大須師走歌舞伎 『桜姫松ノ白浪』</p>	<p>① 大須演芸場 ② 11月30日(金) ~ 12月24日(月) 昼の部 12:45開演、夜の部 6:45開演 (休演日有) ③ 前売 3,800円 (当日 4,000円) ④ ☎052-262-5955 (スーパー一座) 大須師走歌舞伎も二十周年を迎えました。若手役者の活躍に御期待下さい。</p>
<p>劇団平山工務店 『マンインホール』</p>	<p>① 名古屋市千種文化小劇場 ② 12月8日(土) 1:00 7:00、9日(日) 1:00 ③ 前売 2,500円 (当日 3,000円) ④ ☎080-2612-8671 祝、初本公演! 吉と出るか吉と出るか? 同じ穴のムジナにならない様に。</p>
<p>劇団Exciting Drive 第13回公演 『学問のすゝめ』</p>	<p>① 名古屋市港文化小劇場 ② '08年1月19日(土) 7:00、20日(日) 2:00 6:00 ③ 前売 900円 当日 1,000円 (小学生以下は無料) ④ ☎052-625-1205 (劇団) http://island.geocities.jp/exciting_drive/ 江戸から東京呼び名が変わり文明開化叫ぶ声。町民士族が入り乱れ上へ下への大騒ぎ!</p>
<p>矢野 新美 (越後のちりめん問屋) 『さるすべりの木からおちる』</p>	<p>① 長久手町文化の家 (日本劇作家協会東海支部プロデュース「劇王V」参加作品) ② '08年2月2日(土) Aプロ 2:00・Bプロ 6:00、3日(日) 12:30 *Aプロに参加します。 ③ 3公演通し券 一般 3,000円/1公演 1,800円 ④ http://www.bunka.nagakute.aichi.jp/ 昔、百日紅には木の精が住み着いていたという。毎日、頑固に幹を磨いているのだ。</p>



編集発行/平成19年11月25日(年4回)
(財)名古屋市文化振興事業団 名古屋市演劇練習館(アクテノン)
〒453-0841 名古屋市 中村区 稲葉地町 1-4-7
TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632
※この印刷物は再生紙(古紙パルプ配合率100%白色度80%)を使用しています。

